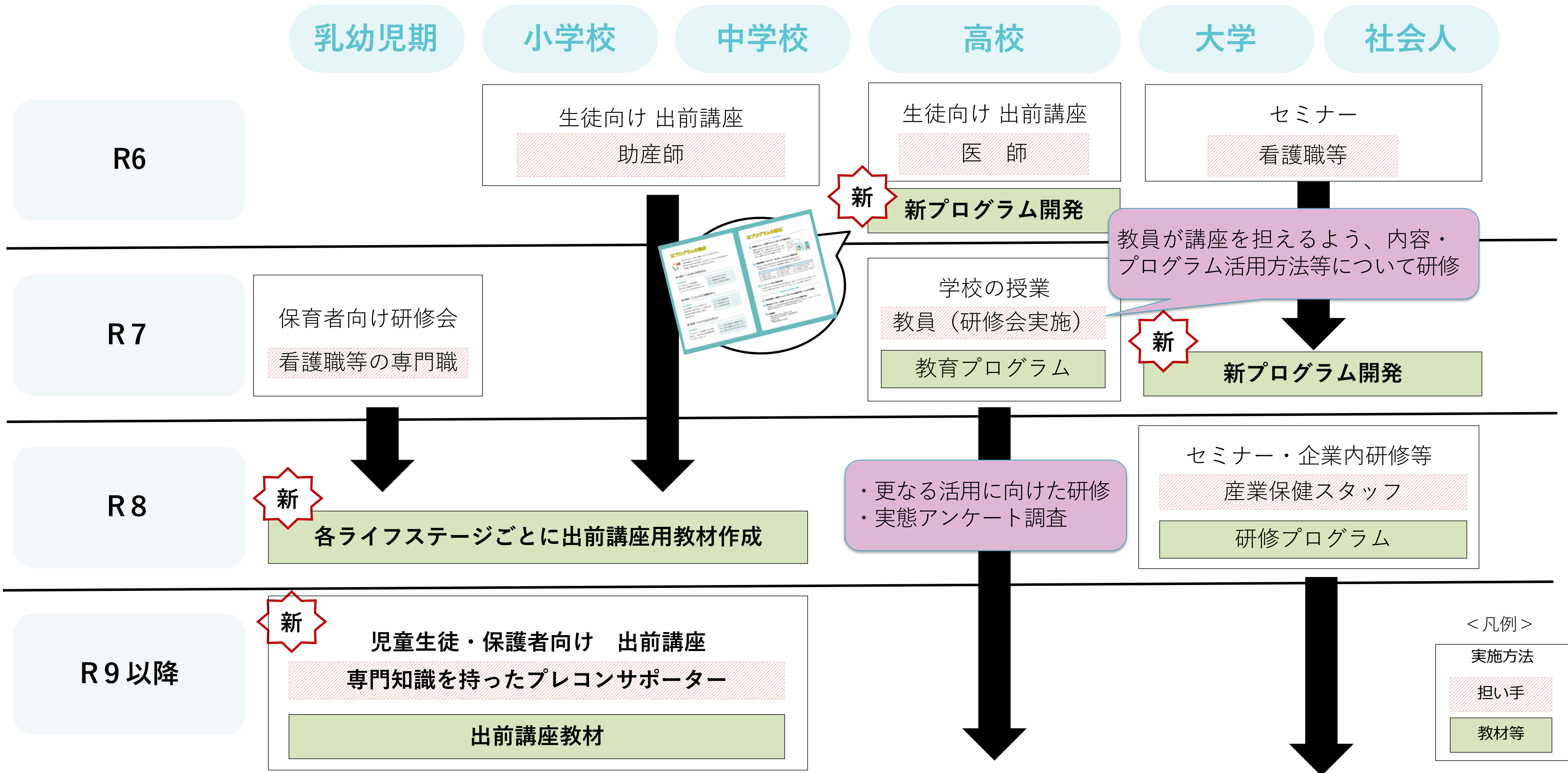


きょうとプレコン推進に係る 取組状況について

京都府健康福祉部
こども・子育て総合支援室

京都府におけるこれまでの取組と今後の予定（集団的アプローチの全体像）



＜乳幼児期～中学校＞令和7年度検討会で決定した方針

課 題

- 乳幼児期から自分のからだを大切にするという意識を育むとともに、発達段階に応じた科学的知識を身に付けることが、これからの健康増進等につながる
- 小・中学校等に対して、助産師による出前講座を実施しているが、マンパワーの問題で、希望する全て学校で授業を実施できていない（実施校約30校、申込60～70校）

取組方針

乳幼児期からプレコンセプションケアをさらに推進するための取り組みとして

- ✓ **小・中学生及び保護者・保育士等に向けた出前講座の担い手（保健師・看護職等）の確保・育成の取組を更にすすめる。**
この際、国の「プレコンサポーター養成講座」の受講に加えて、きょうとプレコンにおいて重視しているSRHRの考え方等についても追加で学んでいただく。
- ✓ **また、こうした担い手が出前講座を実施する際の質の確保や事務負担の軽減といった観点から、出前講座で用いる教材のフォーマットを新たに作成する。**

<乳幼児期～中学校>令和8年度事業の概要

就学前施設（保育所・幼稚園等）や、小・中学校・義務教育学校及び特別支援学校（※以下、小・中学校等という）において、プレコンセプションケア推進に係る取組を実施いただくため、外部講師による出前講座を実施できる体制を整備

✓ 出前講座を実施する担い手の養成

出前講座を実施する（保健師・助産師等）を確保するため、養成講習会を開催

✓ 出前講座用教材の作成

出前講座を実施する際の質の確保や事務負担軽減のため、発達段階に応じた統一的な教材を作成
（※教材の内容については、議題2で説明・議論）



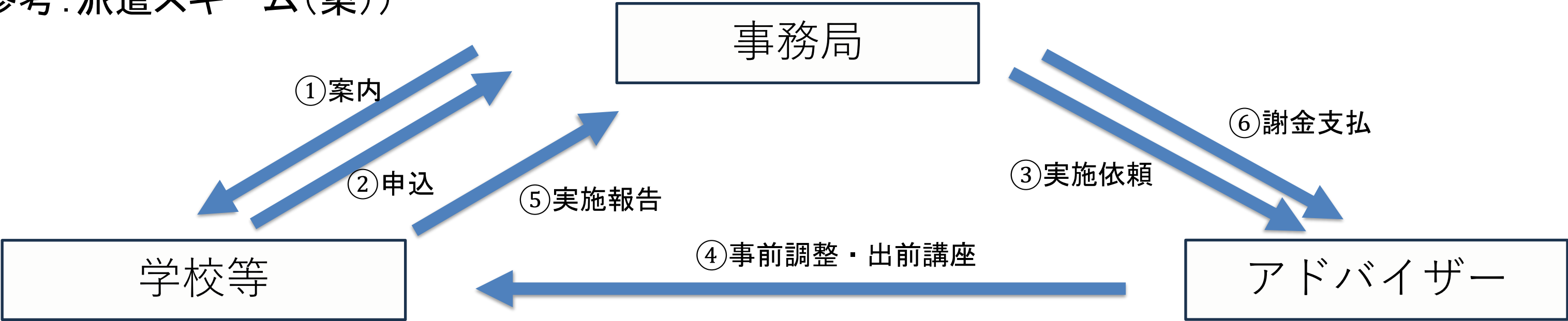
育成した担い手は、「きょうとプレコンアドバイザー」として出前講座を実施

<乳幼児期～中学校> 出前講座の実施イメージ

各学校の申し込みに応じ、「きょうとプレコンアドバイザー」として、地域保健を担う行政保健師と専門的知識を有する助産師等が、それぞれの専門性や経験を活かして連携し、一体となって出前講座を実施

実施者	役割
保健師 (行政・地域保健)	・ 講座の目的や地域保健の役割を伝える ・ 地域で利用できる相談窓口や保健センターを紹介する ・ 講座の振り返りやアンケートを実施する
助産師 (専門職)	・ 専門プログラムの講義、体験活動を実施する ・ 科学的な知識と、日常生活の中で自分の心と体を大切にする方法について学ぶ機会を提供する

(参考:派遣スキーム(案))



<乳幼児期～中学校> 養成講習の実施イメージ

事前研修として国の「プレコンサポーター養成講座」を受講するとともに、出前講座の実施に必要な実技等を学ぶ府独自の養成講習を受講することで、「きょうとプレコンアドバイザー」の質の確保を図る

(Step1) 国のプレコンサポーター養成講座 (基礎編＋アドバンスト編)

目的	プレコンの基本的な概念や性と健康に関する基礎的な知識に加え、相談対応における留意点や教育機関等における出前講座実施時の外部講師としての心得について理解し、個別相談や出前講座等を適切に実施できる
方法	オンラインによるeラーニング形式
内容	・プレコン概要 ・からだの健康 ・食生活と栄養 等 ・学校における性に関する指導 ・出前講座における外部講師の心得 等



(Step 2) 府独自の養成講習（実技講習）

目的	出前講座の内容が特定の考え方に偏ったりしないよう、「きょうとプレコン」として一定の質を維持するとともに、学校等とのトラブルを防ぐために実施
方法	現地開催
内容	<講師> 助産師会 <詳細> ・きょうとプレコンについて ・講師による模擬授業 ・学校等に派遣する際の注意点を説明 ⇒学校との調整を簡略化するマニュアル等を提示

＜乳幼児期～中学校＞今後の取組

「きょうとプレコンアドバイザー」に活躍いただきながら、以下の取組を実施

➤ 小・中学校等における出前講座の実施

⇒からだや性、健康に対する知識を普及

➤ 保護者に対する講座や保育士や教員に対する研修会を実施

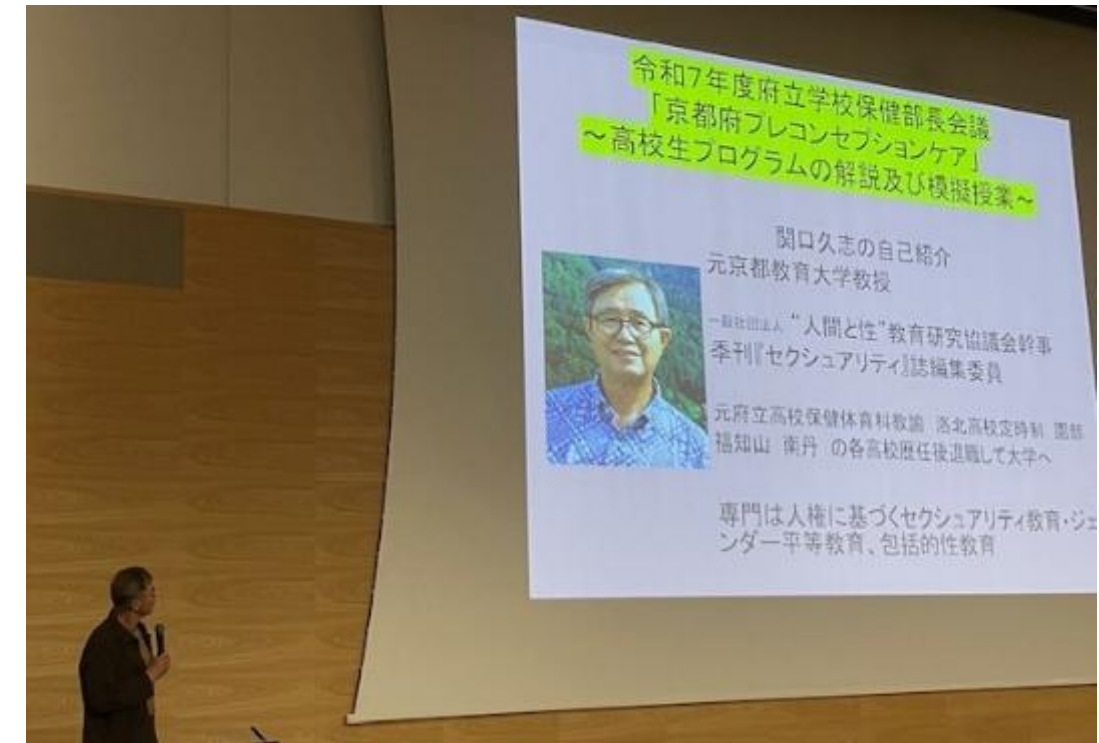
⇒こどもより深い知識を持ち、こどもの困り事や相談を適切に受け止めるための知識を普及

➤ 行政（保健所・市町村）・医療機関（病院・助産施設）・学校等の関係者で構成する連携会議を実施

⇒地域の課題等を共有し、必要に応じて適切な支援を行えるよう体制を構築

< 高校生 > これまでの取組について

- **府内高等学校・特別支援学校（高等部）あてに学校向けリーフレットを送付**
⇒府立75校、京都市立20校、府内私立49校、国立2校、生徒数合計約70,000人
- **府立高等学校、市立高等学校、私立高等学校、それぞれの校長会で活用を依頼**
- **模擬授業、研修会等の実施**
 - ・府立学校保健部長会議において模擬授業の実施【講師：関口座長】(R7.5.22)
 - ・府立学校養護教諭研修会において説明及び活用を依頼(R7.7.25)
 - ・乙訓保健所主催の包括的性教育従事者研修会において説明及び活用を依頼(R7.8.6)
⇒参加者35名
 - ・高等学校教員向け研修会（模擬授業）の実施【講師：関口座長、渡邊委員】(R7.8.7)
⇒参加者63名
 - ・中丹西保健所主催のプレコンセプションケア研修会において説明及び活用を依頼(R7.8.25)
⇒参加者約70名
- **府内全高等学校に向けてアンケート調査を実施【R8.4月～6月】**
⇒アンケート調査にあわせて、学校向けリーフレットを再度送付



＜高校生＞教育プログラム活用に係るアンケートの結果について

アンケート調査の概要

実施期間：令和 8 年 4 月 24 日 ～ 令和 8 年 6 月 30 日

対 象：府内の全高等学校（142校）

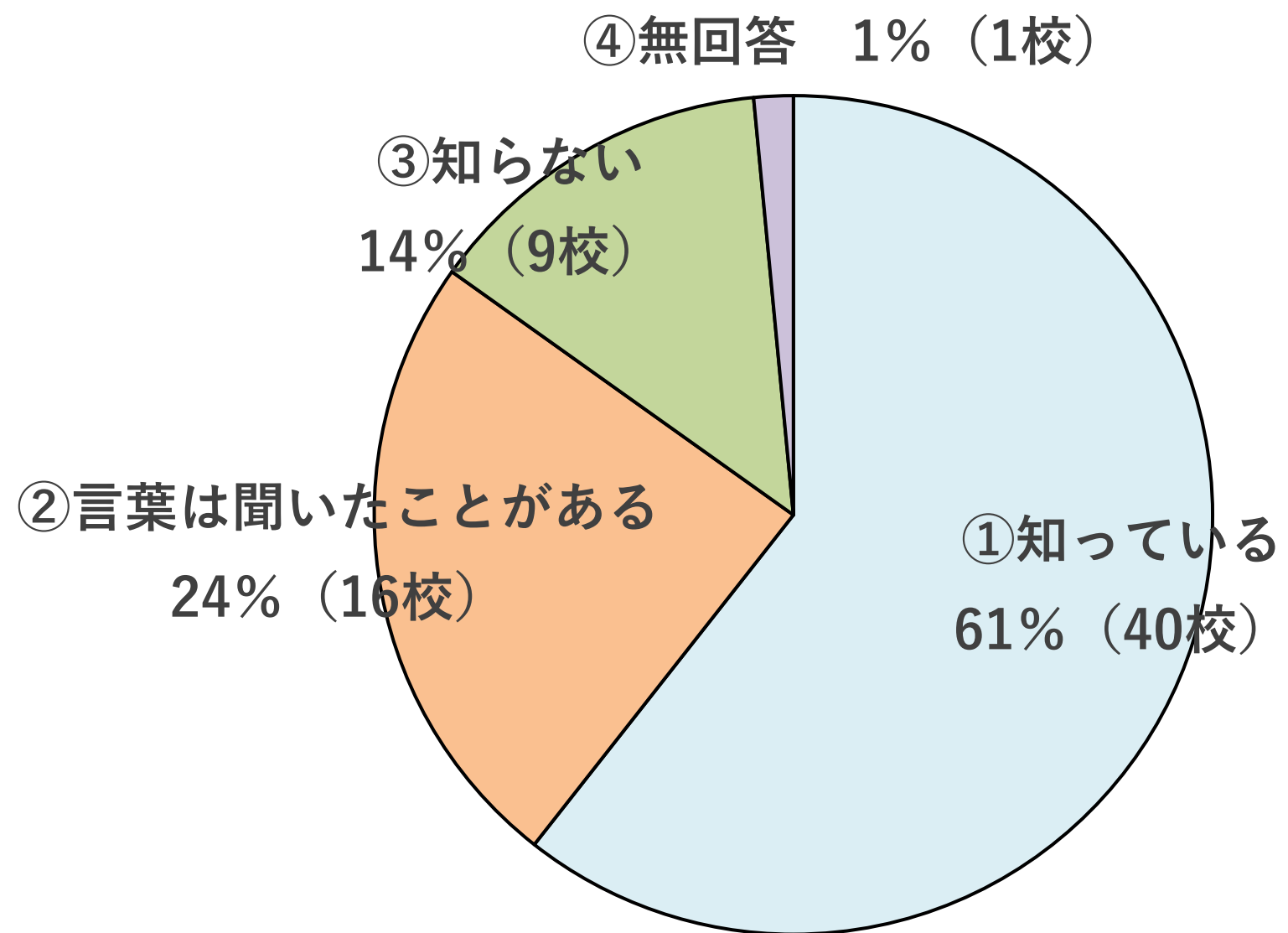
- ・府立高等学校（58校）
- ・府立支援学校（15校）
- ・市立高等学校（9校）
- ・市立支援学校（9校）
- ・国立高等学校（1校）
- ・国立支援学校（1校）
- ・私立高等学校（49校）

方 法：Excelシートをメール提出

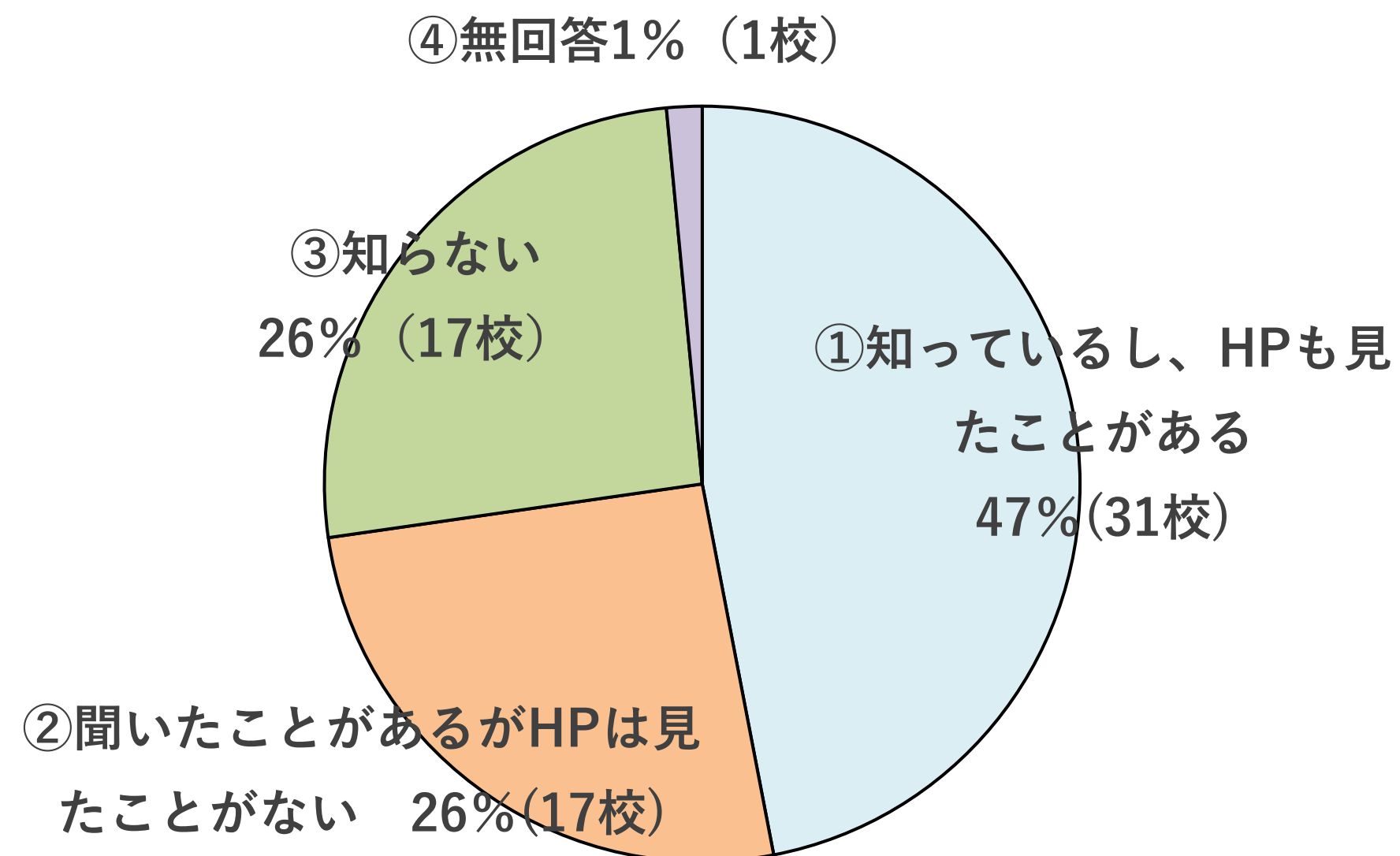
回 収 数：66件（46％）

＜高校生＞教育プログラム活用に係るアンケートの結果について

プレコンの認知度 (n=66)

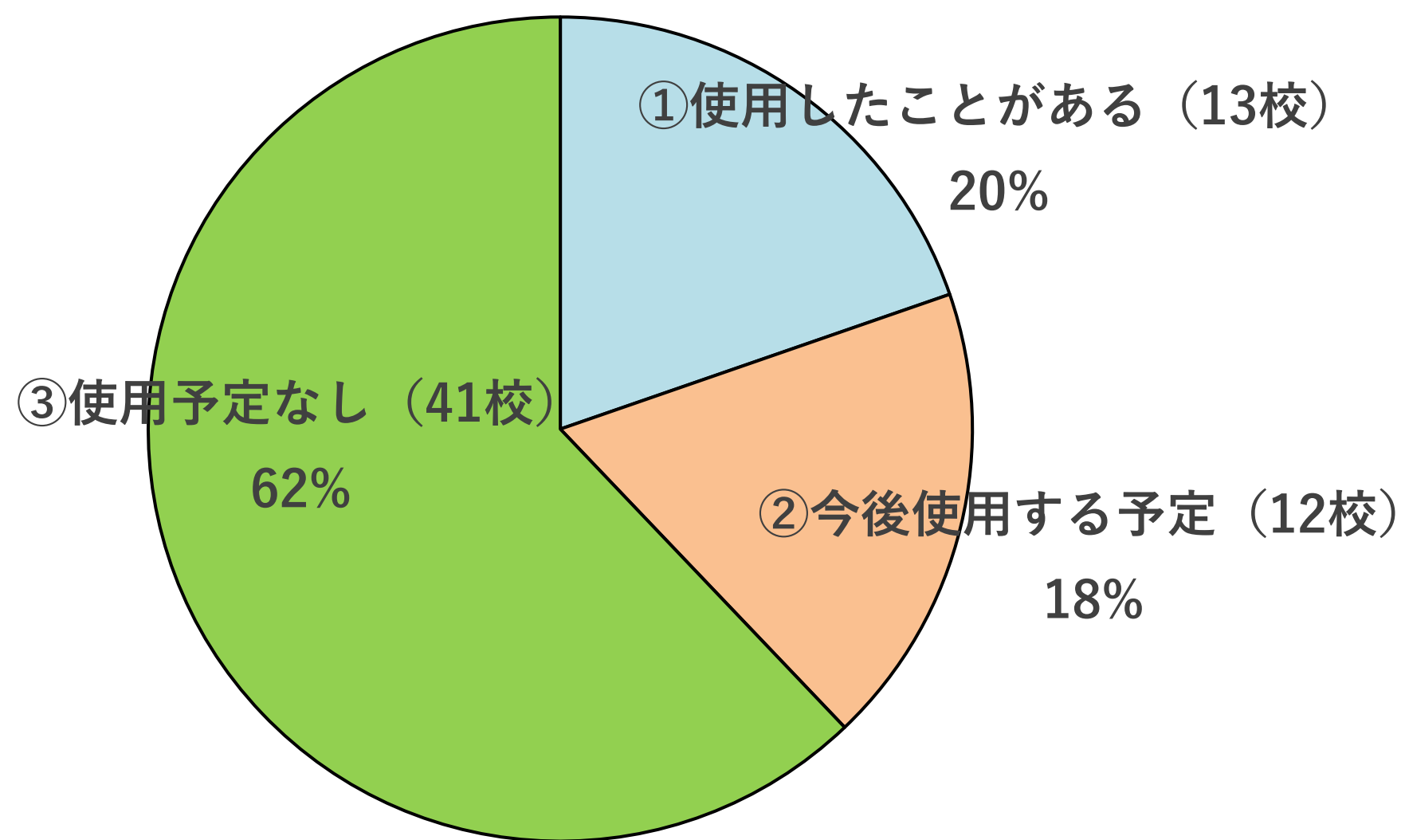


教育プログラムの認知度 (n=66)



< 高校生 > 教育プログラム活用に係るアンケートの結果について

プログラム使用 (n=66)



使用した（する予定）の学校の感想 (n=25)

< 使用しやすい：19校（76%） >

- ・ スライドの内容がわかりやすい
- ・ 図や動画・イラストが理解しやすい
- ・ 編集して使用できる
- ・ 生徒に合わせた指導ができる

< 使用しにくい主な理由：1校（4%） >

- ・ 内容が多く、授業時間内に収めるには調整が必要

< 分からない主な理由：3校（12%） >

- ・ 未使用（今後使用予定）のため

※無回答:2校（8%）

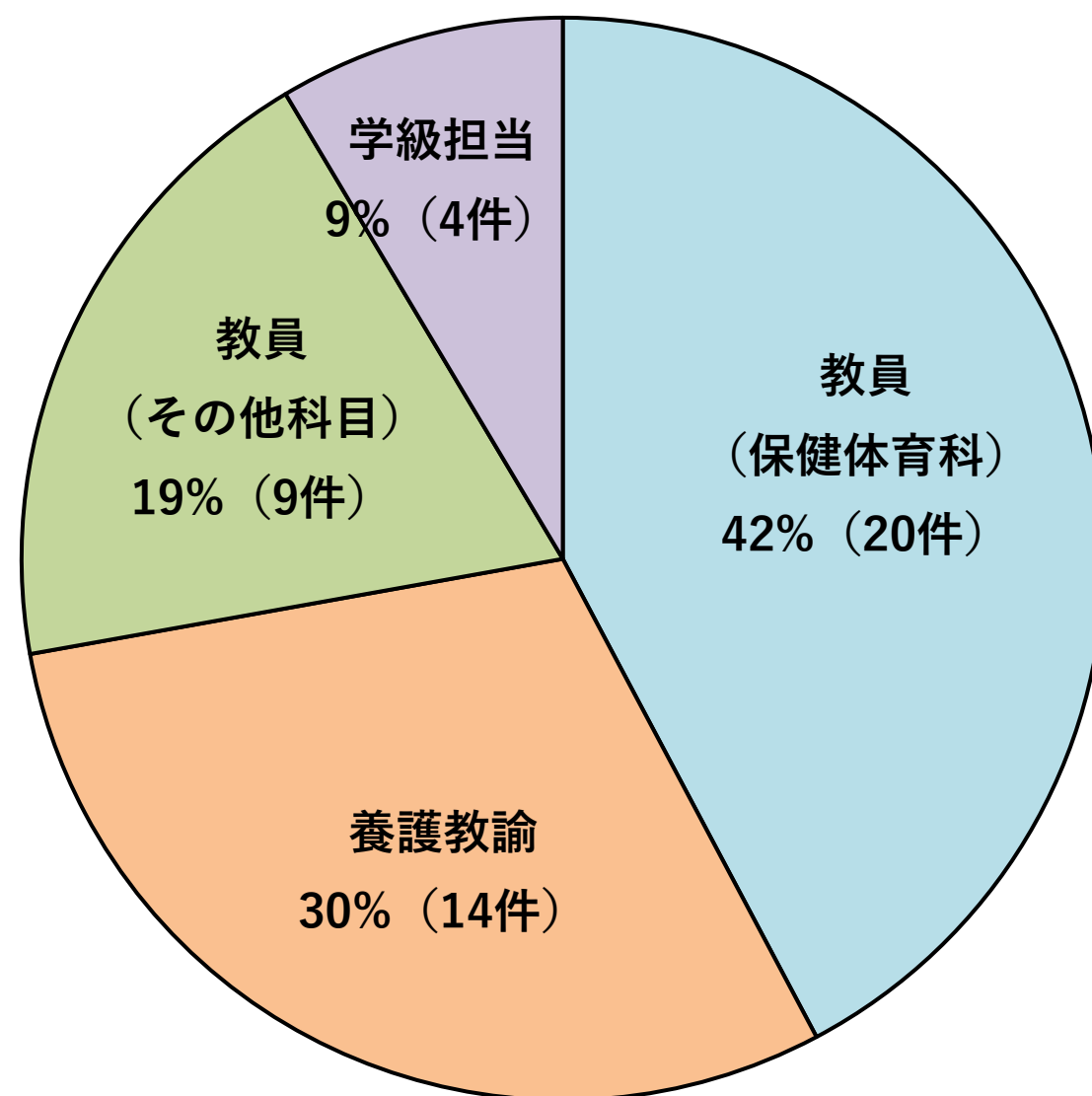
＜高校生＞教育プログラム活用に係るアンケートの結果について

●プログラムを使用した（する予定）の学校（n=25）のうち、

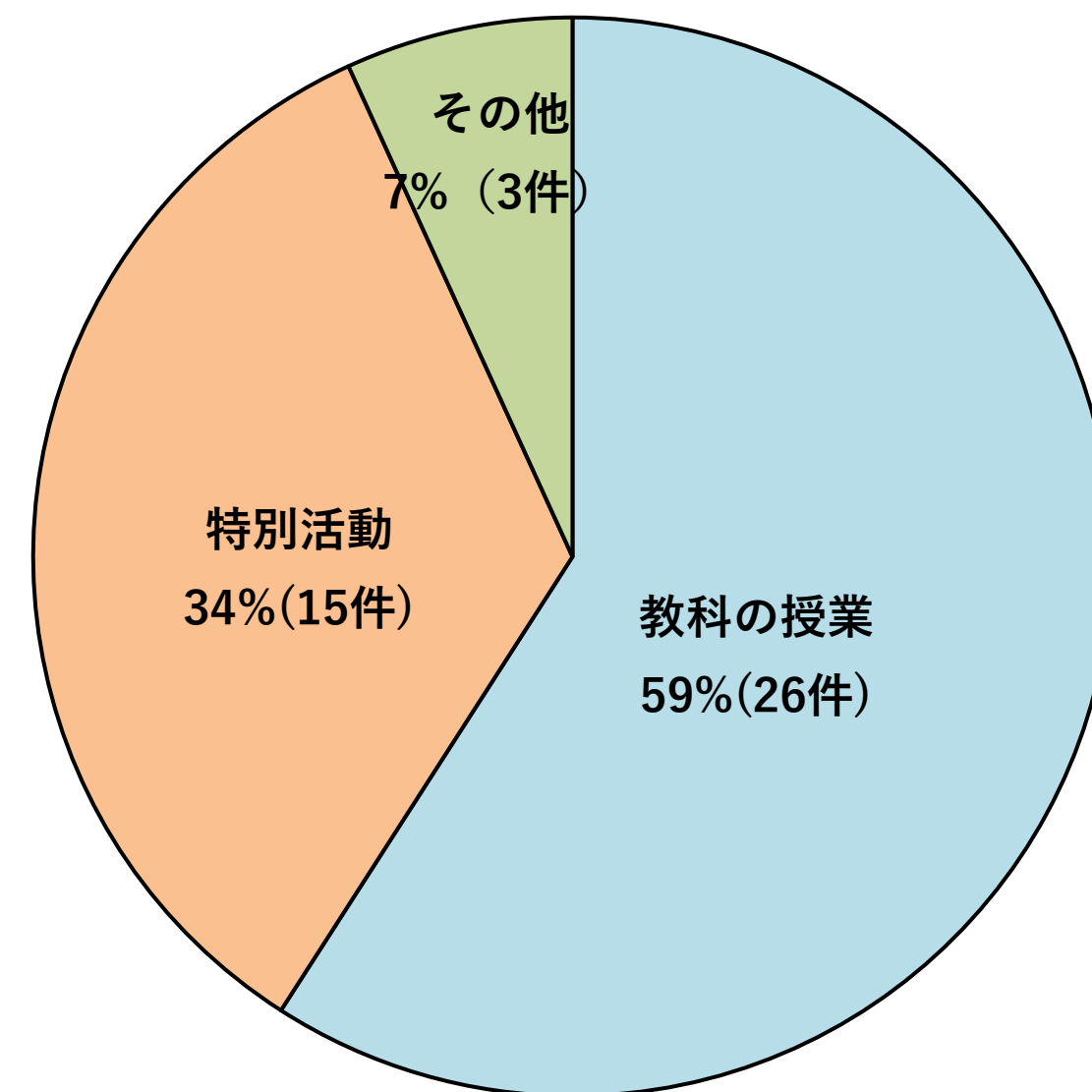
使用者と使用場面は以下のとおり

※複数回答あり

プログラム使用者＜今後の予定含む＞
(n = 47)



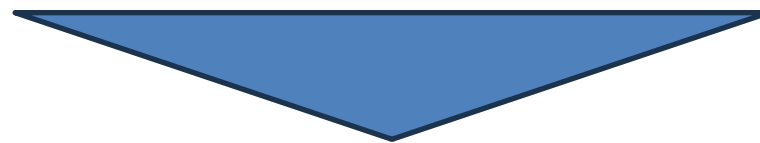
使用場面＜今後の予定含む＞
(n = 44)



＜高校生＞今後の取組について

アンケート調査の結果では、

- 使用したことがある・今後使用予定の学校は約4割である一方、使用した学校の76%が「使用しやすい」と回答
- プログラムを知っているが、使用していない学校も見受けられるとともに、「今後行政に期待すること」は、「教員向け研修会」など利活用に向けた支援を望む意見が多い



- 引き続き、教育プログラムを周知するとともに、実際の活用例を紹介するなど、更なる活用を促すため教員向け研修会等を進めてまいりたい。
- 今年度も、主に養護教諭を対象とした研修会などを実施予定。

<大学生・社会人>今年度の取組について

イベント等での普及・啓発

無関心層にアプローチし、さらなる「きょうとプレコン」推進に向け、イベント等での普及啓発を実施

(R8：今年度も500名規模のイベントを実施予定)

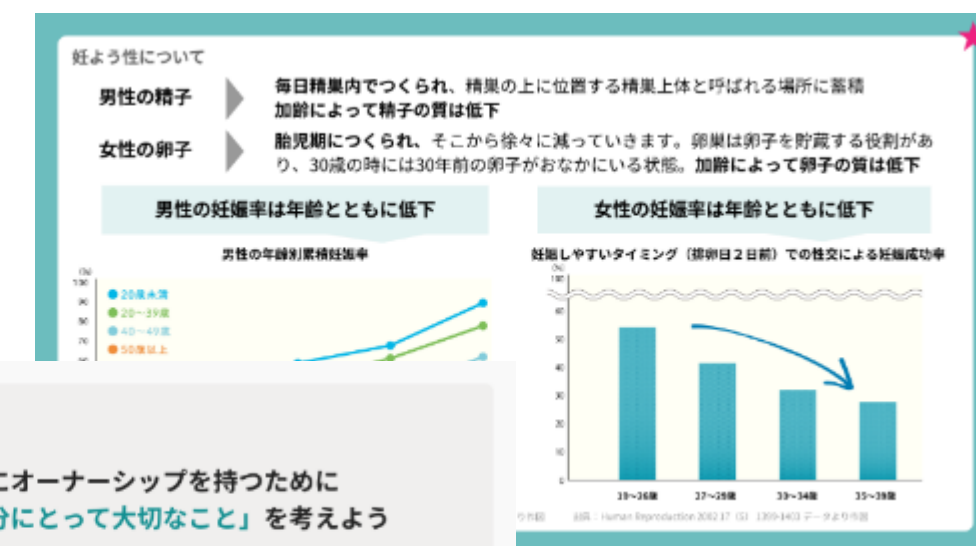
セミナーの実施

大学や企業等と連携し、大学生、若手社会人、
企業の人事労務担当者に対してセミナーを実施

(R8：6回、計500人規模)

社会人教育プログラムの活用促進

令和7年度に作成した社会人教育プログラムについて、
各種セミナー等の機会や、関係団体等を通じて周知し、活用を促進



その他の取組について

その他普及啓発

- 各種啓発チラシやマンガ等の作成
⇒ 行政窓口や、成人式・大学の入学式等で配布
- 大学や市町村等と連携したイベント等でのブース出展
- HP等での情報発信

<R8作成予定>

- 小学生（高学年）向けチラシ教材（月経・婦人科受診 など）
- 中学生・高校生向けマンガ教材（からだところの付き合い方（仮））



（SNS相談/SOS相談カード・チラシ）



（15秒動画）



（一般啓発チラシ）



（啓発マンガ）



（保護者・保育者向けマンガリーフレット）

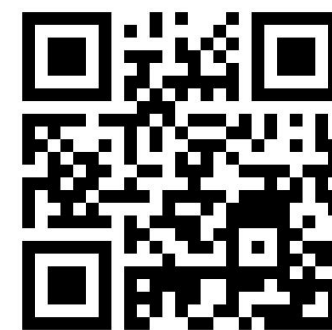
【今後5年間の集中的な取組】

- 性と健康に関する正しい知識の普及と情報提供
＜目標＞認知度80%、プレコンサポーター※5万人以上
- 相談支援の充実（一般相談）
＜目標＞相談窓口認知度100%
- 相談支援の充実（専門相談）
＜目標＞専門相談医療機関数200以上

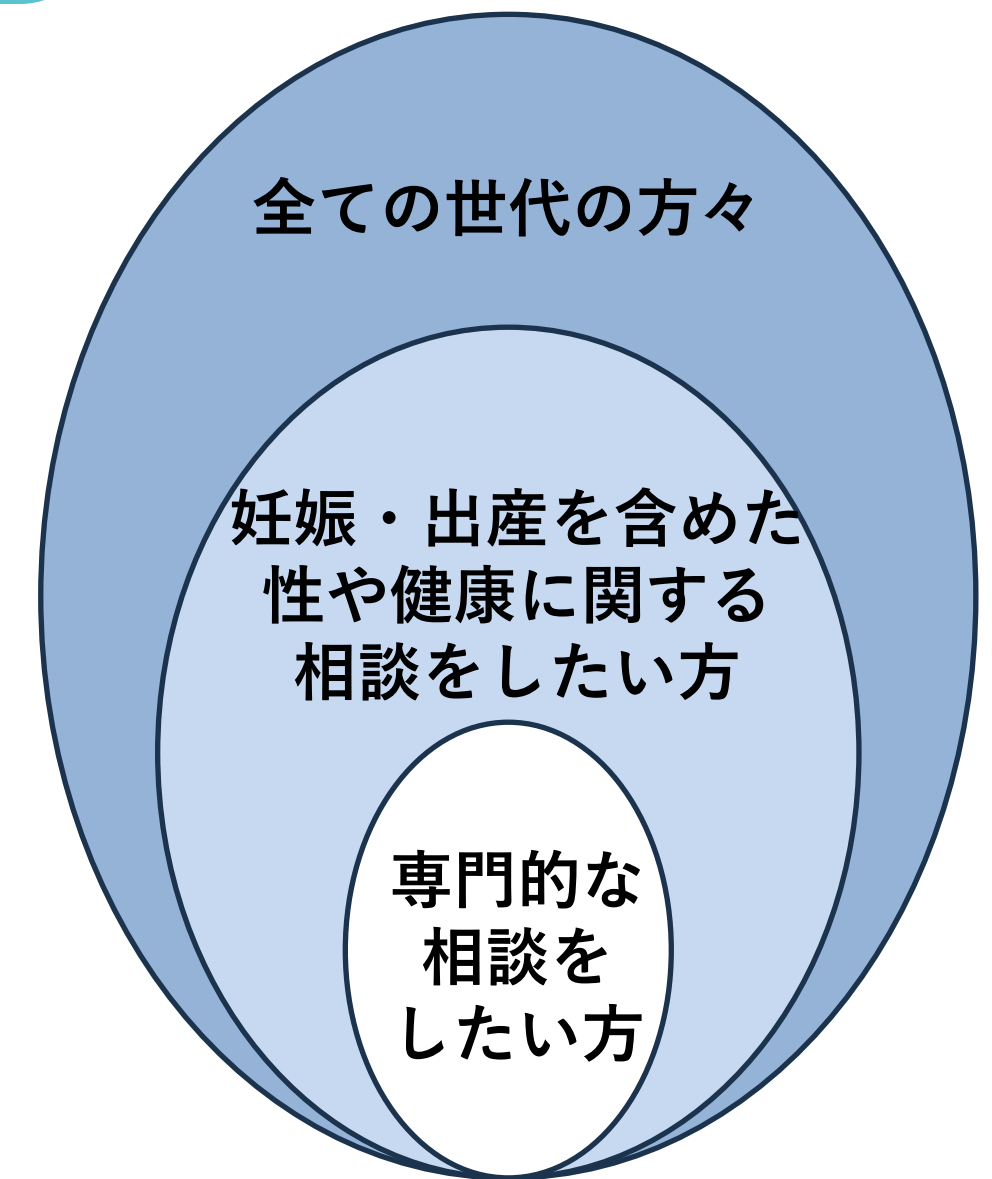
※プレコンサポーターとは

- ・プレコンセプションケアを推進することを目的とし、自治体・企業・教育機関等において、性別を問わず、性と健康に関する正しい知識の普及を図り、健康管理を行うよう促す人材のこと。
⇒ **R8.1月「プレコンサポーター養成講座」開始**
- ・養成講座を修了することで、職種に限定されず、誰でもプレコンサポーターになることができる。

＜こども家庭庁HP＞



URL:<https://precon.cfa.go.jp>



都道府県や市町村が、国のプレコンセプションケア推進5か年計画も参考に、地域の実情に応じた「地方版推進計画」を策定し、計画的に取組を進めることが求められている